

主 題： あなたも名探偵！「映像と写真のマジック」

授業の意図：

「すこやか集会」実施の前にとったアンケートでは、子ども達が「映像」に対する絶対的な信頼というものが浮き彫りになった。「映像や写真にうそはない」という子ども達の意識に「トリック解明」という形で働きかけたいと思う。映像や写真にしかけられるマジックやトリックを理解し、それによって作り手の思う方向に流される危険性について考えさせたい。

準備物： アンケートの結果（プリント）、アラブ人の顔のイラスト、ダイエットのチラシ、
ビデオ「体験！メディアのABC」、ビデオデッキ

学習過程

アラブ人のイラストを提示し、子どもたちの自由な発言を聞く。

アメリカのテロの後、こうしたイスラム系の人々がテロ事件と何の関係もないのにたくさん殺されるという事件が起こりました。この事件で家族を殺された人は、「夫はアメリカのメディアに殺された」と言ったそうです。テロ事件で、こうした服装をした人が、テロの犯人として報道されるようになってから、イスラム系の人々はみんな悪い人というようなイメージを持ってしまいがちです。映像というのは、私たちに知らない間に、いろいろなイメージや思い込みを持たせてしまう力があります。

広告の工夫について話し合う。

ここにダイエット商品の広告があります。この広告で、みんなが買いたくなるような気持ちにするためにどんなテクニックが使われているか、グループで話し合ってみましょう。

アンケートの結果をあらわしたプリントを配布する。

先日のアンケートの結果、みなさんが、写真とか映像とというものに絶対的な信頼を置いている事がわかりました。でも、先ほどのイラストのように、私たちは映像とか写真によって、自分のものの考え方やイメージに影響を与えています。テレビから流れる写真や映像は、すべて本当のものとは限りません。目的に応じていろいろなテクニックが使われています。

それがいいことに使われているならばいいのですが、実際のテレビや雑誌では時々、作った人の集うのいいようなマジックが使われることがあります。これからそれを見てほしいと思います。今日見るビデオは、先日のすこやか集会の藤川先生がNHKといっしょに製作された番組です。

ビデオの視聴をする

写真の合成（10分）

組み写真（8分）

インタビュー（5分）

さあ、みんな、どうだったかな。映像や写真はそれをどう加工するかどう使うかによって作った人のねらいどおりに見る人の考えやイメージを思い通りに動かすことができるという怖さがあります。

みんなが、テレビや雑誌を見るときには、こうした知識をもってきちんと映像や写真を分析してみたいと思います。

まとめのカードを配布する。